

全 国 知 事 会 第 6 次 訪 中 代 表 団

視 察 報 告 書

平成 1 1 年 5 月 3 1 日 ~ 6 月 8 日

全 国 知 事 会

は し が き

本会は、この度、中日友好協会の招待を受け、土屋義彦全国知事会会長（埼玉県知事）を団長とする第6次の代表団を結成し、平成11年5月31日から6月8日までの9日間中国を訪問した。

折しも、本年1999年は、中華人民共和国建国50周年の節目の年に当たり、10月1日に開催が予定されている記念式典に向かって、首都北京では各般の都市整備事業が鋭意進められていた。

そうした中、我が代表団は、遼寧省の大連市訪問を皮切りに、以降、北京市、雲南省の省都昆明市、最後の訪問地上海市と精力的にスケジュールを消化し、全員無事に帰国の途についた。

この間、改革開放路線を展開する中国の代表的なプロジェクトとして、大連市の大連経済技術開発区及び上海市の浦東経済開発区を視察。要人会見では、北京市における李嵐清国務院副総理、唐家・外交部長をはじめ訪問各省、市の指導者を表敬訪問し、文化遺産や史跡の探訪においては、旅順戦跡、北京の故宮、万里の長城などのほか、昆明市では開催中の世界園芸博覧会、市内の古い寺院（圓通寺）や郊外に広がる石林、中国少数民族の各種文物、更には、昆明市、上海市の博物館などを視察した。

このように、9日間という限られた期間ではあったが、中国の行政、産業、文化の各分野に亘る視察、交流を行い、その度ごとに中国側から友好的な歓迎を受け、懇切丁寧な説明を聞き、率直な意見交換を行うことができた。その意味からも訪中の大きな目的である日中両国の相互理解と友好親善にささやかながらも寄与し得たものと考えている。

本報告書は、以上のような中国訪問団歴訪の記録を若干の写真と資料とともに視察日程順に整理しとりまとめたものである。

最後に、今回の訪中に当たりご配慮を頂いた日中両国の関係者各位、とりわけ現地その他で直接的なお世話を頂戴した中日友好協会のご担当の方々に対し、深甚なる御礼を申し上げる次第である。

1999年6月

第6次全国知事会訪中代表団秘書長

全国知事会事務総長 紀内 ・ 宏

目 次

1. 全国知事会第6次訪中代表団名簿	1
2. 訪中団行程概要（付行程図）	2
3. 行程記録	
（1）大連市における主要行程記録	5
ア. 大連市経済技術開発区視察	5
イ. 薄・来大連市長表敬訪問	5
ウ. 于学祥中国共産党大連市委員会書記表敬訪問	6
○大連市での随行員	7
（2）北京市における主要行程記録	7
ア. 李嵐清国務院副総理表敬訪問	7
イ. 孟学農北京市常務副市長表敬訪問	8
ウ. 唐家・外交部長表敬訪問	10
エ. 中日友好協会主催歓迎宴	11
オ. 全国知事会訪中代表団主催答礼宴	11
○北京市でのその他の訪問先	12
○北京市での随行員	12
（3）雲南省における主要行程記録	12
李嘉廷雲南省長表敬訪問	12
○雲南省での随行員	14
（4）上海市における主要行程記録	14
ア. 浦東経済開発区視察	14
イ. 左煥・上海市副市長表敬訪問	15
○上海市でのその他の訪問先	16
○上海市での随行員	17

1. 全国知事会第6次訪中代表团名簿

団 長	全国知事会会長 埼玉県知事	土屋 義彦
秘書長	全国知事会事務総長	紀内 隆宏
団 員	栃木県副知事	小菅 充
〃	岐阜県副知事	森元 恒雄
〃	兵庫県副知事	井戸 敏三
〃	京都府出納長	梅原 久弘
随 員	全国知事会国際部長	石場 雅美
〃	全国知事会総務部副参事	小野 哲巳
〃	埼玉県理事	柴崎 篤房
〃	埼玉県理事室副参事	田中 寿
〃	埼玉県秘書課主幹	小林 一彦

《中日友好協会同行者》

都市交流部長 王 秀雲

同 理事 王 慶英

同 部長補佐 鄧 曉峰

3. 行程記録

(1) 大連市における主要行程記録

ア. 大連市経済技術開発区視察

【日 時】平成11年5月31日(月) 14:35

【場 所】大連市経済技術開発区管理委員会7階国際会議場

【出席者】劉國忱 大連市経済技術開発区管理委員会副主任
劉偉春 大連市経済技術開発区管理委員会弁公室副主任

【概 要】

〈劉國忱副主任〉

- ・ご来訪を感謝し心から歓迎する。
- ・この開発区はスタートして15年が経過するが、日本の各産業界を始めとする世界中の企業の参画を得て良好な成績を収めつつ発展してきた。
- ・中国中央政府は国家級の開発地区を重要視しており、この度、上海で開催された国家級の開発区の利用状況に関する会議で、中央政府は開発区を海外への輸出型を主体とした開放区にすべきとの指示を出し、併せて、進出企業に対する優遇政策も今後とも継続されることが確認された。
- ・大連市経済技術開発区においても、国家の要請に沿って行政サービス面等良好な投資環境を維持するよう今後とも努力を続けるので皆様もお帰りになられたら各企業への紹介をお願いしたい。
- ・また、この開発区は、薄大連市長の指示により環境保全関連の3つのプロジェクトを推進することが計画されており、皆様が次にご来訪される時はもっと美しい地域となっているはずである。

〈土屋団長〉

- ・ご多用の折、会見の機会をおつくりいただき感謝申し上げます。
- ・活力に満ちた経済開発区を目の当たりにし、皆様方の今日までのご苦勞に対し敬意を表するとともに、開発区の現状をご説明いただき、
- ・企業活動の状況がよく分かって勉強になった。
- ・私は20年前に環境庁長官を務めていたこともあり、現在県知事として県政運営の基本を「環境優先」「生活重視」に置くなど、環境問題には格別の関心を持っているが、大連市は非常に清潔な街だという印象を持った。
- ・この開発区は誠に素晴らしい区域だと思うので、帰国したら大連市の状況の報告と共に開発区のPRも行いたいと思う。

イ. 薄熙来大連市長表敬訪問

【日 時】平成11年5月31日(月) 17:00

【場 所】大連市庁4階大会議室

【出席者】薄・来 大連市長
李永金 大連市副市長
呂万山 大連市人民対外友好協会会長
李泊洲 大連市対外経済貿易委員会主任

張建威 大連市外事副主任

【概要】

〈薄大連市長〉

- ・土屋会長は大連市は初めての訪問と聞いているが、ご案内のように大連市と埼玉県はこれまで様々な交流を行ってきている。この機会にぜひ大連についての理解を深めていただければ幸いである。今回のご訪問を大連市政府としても重要視しており、大連市民を代表して心から歓迎する。
- ・近年、大連市と日本国の友好協力関係が益々発展しており、既に1,700余りの日系企業が進出しているが、概ね成功裡に事業展開を図っている。
- ・先月まで大連市ではアカシヤ祭りが行われており、期間中大勢の日本人旅行客も来られて賑わったが、第10回キャノン杯日本語弁論大会もその時行われ、大連市の小中学生1,000人位の参加があった。大連市は、中国の大都市の中では日本語のレベルが一番高いと思う。

〈土屋団長〉

- ・この度、日本の都道府県知事を代表し、中日友好協会の招きで貴国を訪問した。市長始め幹部の皆様には貴重な時間をさいいただき、また、只今市長から心のこもったご挨拶をいただき感謝申し上げます。
- ・先ほど経済開発区を視察し、大変な発展ぶりを目の当たりにして感動した。日本からの進出企業もこちらの有利な投資環境下で優秀な実績を挙げているとの説明も受けた。
- ・また、市長が環境問題に非常に力を入れているとの話を聞くにつけ、もはや環境問題は議論の時代ではなく実行の時代であるとの私の持論を再確認している。
- ・今年は中華人民共和国が誕生して50周年、また、大連市が誕生して100周年という記念の年に当たると伺ったが、今後も両国が発展していく礎は、時代を担う青少年の育成、交流にかかっていると考える。世界の子供達の友情を通じて世界平和に貢献したいと念願している。

ウ. 于学祥中国共産党大連市委員会書記表敬訪問

【日時】平成11年5月31日(月)18:00

【場所】大連賓館(旧大連大和ホテル)

【出席者】于学祥 中国共産党大連市委員会書記
薫長海 中国共産党大連市委常任委員 秘書長
李永金 大連市副市長
呂万山 大連市人民対外友好協会会長
張建威 大連市外事副主任

【概要】

〈于学祥書記〉

- ・中国と日本は、一衣帯水の関係であり、長い友好の歴史を持っている。
- ・土屋団長は参議院議長を務められて後、埼玉県の知事になられてからも、中日友好のために尽力されていることに対し敬意を表する。これからも日本の各都道府県との文化や経済面での交流活動が益々盛んになるよう一層のご協力を賜りたい。

- ・各団員におかれても、今回の訪中を通じて大連市への理解を深めていただき、経済交流が一層活発になるよう、それぞれのお立場からご協力願いたい。また、これからは、開放経済を維持するだけでなく、人的、芸術・文化的交流など様々な分野で日本との交流が深まることを期待している。

〈土屋団長〉

- ・今回初めての大連訪問を果たし、経済開発区等を拝見して大変な発展ぶりに感動した。また、大連市は至る所緑に富み、自然環境に恵まれた素晴らしい都市である。私は環境問題には格別の関心を持っているが、自然を大切にしたい次の時代に引き継ぐことは重大なテーマである。
- ・政府対政府のオフィシャルな外交もさることながら、地方自治体レベル、住民レベルの草の根外交を通じて友好交流を深めることは、世界の平和に貢献する道と信じている。我が国は第二次大戦で貴国に大変な迷惑をかけたが、そうした過去の恩讐を越えて、中国の方々が残留孤児を立派に育てていただいたことについて、深く感謝申し上げたい。
- ・私は西ドイツのシュミット元首相から、日本は中国ともっと仲良くしなければならないという話をいただいたが、私も全くそのとおりであると確信している。今後私は中国を始め多くの国々の次代を担う子供達の国際交流に大いに力を入れ、それによる世界平和の実現に貢献したいと考えている。

○大連市での同行者 大連市人民対外友好協会 文永然
 〃 楊 坤

(2) 北京市における主要行程記録

ア. 李嵐清国務院副総理表敬訪問

【日 時】平成11年6月2日(水) 11:30

【場 所】中南海

【出席者】李嵐清 国務院副総理
 齊懷遠 対外友好協会会長
 陳永昌 中日友好協会副会長
 呉瑞鈞 中日友好協会秘書長
 谷野作太郎 中国特命全権大使

【概 要】

〈土屋団長〉

- ・このたびの訪中に際して、中日友好協会の心温まるご配慮と本日李副総理には極めてご多用の折寸暇をさいてお目にかかれる機会を作っていただいたことに対し感謝申し上げます。また、貴国の建国50周年という大変意義ある年に訪問できたことを感慨深く受け止めている。
- ・昨年11月に江沢民国家主席が訪日された時、小淵総理との間で、33項目にわたる日中間の具体的な協力事項が確認されたが、地方自治体としても誠実にこれの実現に努力する必要があると考える。
- ・江主席訪日の際、国際保護鳥のトキをお送りいただいた。早速ひなが誕生し、日中の将来を占う大変喜ばしい出来事であった。
- ・我が国は過去において中国を始めアジアの諸国に対し大変ご迷惑をお

かけしたことを率直にお詫びしかつ反省している。貴国とともにアジアの安定と世界平和のために前進していく決意である。

〈李副総理〉

- ・全国知事会代表団の訪中を心から歓迎する。中日両国は一衣帯水の隣国であり、これから21世紀を迎えるに当たって、日本はアジアで一番発達した国として、中国はアジアで一番大きな発展途上国として、益々友好関係を発展させなければならない。それは、アジアと世界の平和にとって重要な問題であると考えている。
- ・冷戦が終結し、平和な世界が育まれるよう人々は期待しているが、世界にはまだ色々な問題が残っている。国同士が付き合っていくための統一的な基準はまだできていないのではあるが、一つの超大国だけでは世界のバランスを崩してしまうと我々は思う。
- ・中日両国の問題として、1945年に終結した今次大戦に対して日本人に正しい歴史認識を持って欲しいこと。正しい歴史認識を持てば中国人民は怨みは覚えず、また、過去の二の舞を防ぐこともできると思う。中国が一番関心を持っているのは、まさにこの戦争を忘れられないでいてほしいことである。そうした意味で、日米防衛協力の指針、いわゆるガイドラインの問題や台湾問題などについて我々は敏感になっており、関心も高い。
- ・日本の経済は現在色々な問題を抱えているようだが、にもかかわらず、高い経済力を持っている。中国と日本が政治・経済の分野で友好協力関係を強めていくことが、アジアと世界の平和のためには非常に大事である。これは、両国人民の利益にも合致することであるので、子々孫々まで仲良くしていけるよう若い人々を教育していきたい。

〈土屋団長〉

- ・罪なき国民が尊い命を捨てるような戦争は絶対に行ってはならないという思いで私は政治家を目指した。私は世界平和を念願しているし、隣国中国との友好促進は特に大事なことと考えている。また、私の歴史認識は、我が国政府の見解と変わるものではない。独立国家として自らの国は自らの手で守るのは当然として、今注目されているガイドラインの問題については、国権の最高機関である国会で成立したものであるが、一番重要な点は、他国に脅威を与えるものであってはならないということであると思う。
- ・次代を担う子供達に期待し育てていくことが重要という点は同感であり感銘を覚えた。埼玉県では、日韓ワールドカップサッカー大会の開催に向け、現在、サッカー専用スタジアムを建設しているが、大会終了後は、中国や韓国などアジア諸国の子供達がスポーツを通じて友情の絆をつくる場として活用したい。

※この時の会見状況について、後掲の孟学農北京市副市長、唐家 外交部長との会見状況と併せて、同日午後6時より現地にて記者発表した。

イ. 孟学農北京市常務副市長表敬訪問

【日 時】平成11年6月2日（水）14：15

【場 所】 北京市庁

【出席者】 孟学農 北京市常務副市長
張虹海 北京市外事弁公室主任
張連生 北京市人民対外友好協会常務副会長

【概 要】

〈孟副市長〉

- ・ご訪問を歓迎する。北京市政府はもとより、1, 200 万人北京市市民も中日友好を大切にし重要視している。この度、土屋会長を団長とする全国知事会訪中団を北京市政府にお招きすることができたことは、日本との友好協力を強化するに当たり非常に重要なことと受け止めている。
- ・中日友好を重視するのは、中日両国は一衣帯水の隣国で、かつての不幸な歴史に対し、沢山の先輩諸氏の努力によって両国の国交正常化が図られ、以降、両国間に理解と友情が深められていったという経緯に鑑み、我々は今の関係を大切にし発展させなければならないと思うからである。

〈土屋団長〉

- ・訪問に当たり、関係者の皆様に熱烈歓迎を受けたことを感謝する。また、貴国建国50周年の記念すべき年に訪問できて二重の喜びである。北京市内では記念式典の準備のため大きな工事が至るところ進められているのを拝見した。
- ・ご指摘の過去における不幸な歴史によって、中国始めアジアの国民に非常なご迷惑をかけたことに対し、率直にお詫びと反省を行い、日中両国、アジアの皆様と相協力してアジアの安定と世界平和の実現に努力していきたい。特に中国人民に感謝したいことは、過去の恩讐を越えて、残留孤児を大事に育てていただいたことである。
- ・次世代を担う子供達にスポーツを通じて夢と希望と友情を育くむ場として、サッカー専用スタジアムなど活用して参りたい。

〈孟副市長〉

- ・市内至る所で建国50周年を迎えるための工事が行われており、10月1日にはパレードと閲兵式が予定されている。また、最近の交通量の増大に伴い大気汚染が進行しており、2005年を目標に都市緑化策と併せて汚染浄化を進めたいと考えている。
- ・また、50周年行事が終了すると、2001年世界大学生スポーツ大会の北京市での開催の準備、更には2008年の北京オリンピック開催に向けての誘致活動を行う予定である。
- ・これら3つの行事の展開によって北京市は大きく変わっていくものと思うが、いずれにせよ、日本や中国で開催されるであろうサッカーやオリンピックなどのスポーツ行事を通じて、アジアや世界の青少年の結びつきができる良いチャンスが到来したと思っている。世界の人々を結びつける行事というものは世界平和にも貢献できると考える。

〈土屋団長〉

- ・かつて私は環境庁長官を務めた経験から、環境問題には格別の関心を持っているが、埼玉県と姉妹提携を結んでいる山西省から環境問題に関し研修生を受け入れている。現在、アジア最大級の環境科学国際セ

ンターを整備中であり、この施設が完成した際には、都市環境など北京市が当面されている分野に関し埼玉県としても情報交換ができればと思っているので、ここでご提案したい。

ウ. 唐家・外交部長表敬訪問

【日 時】平成11年6月2日（水）15：30

【場 所】外務省応接室

【出席者】唐家・ 外交部長
呉瑞鈞 中日友好協会秘書長
王秀雲 中日友好協会部長
谷野作太郎 中国特命全権大使

【概 要】

〈土屋団長〉

- ・全国知事会代表団は今回で6回目の訪中になり、5月31日大連に到着以来、関係の皆様から大変暖かいおもてなしを受け、感激している。また、本日は唐先生にお会いでき、大変嬉しく思っている。私が参議院議長時代に唐先生は在日本大使館に公使として駐在され何度もお目にかかっている。
- ・中央政界から地方政界に移って7年が経つが、地方政府が先頭に立って草の根的な地方外交を展開することが、将来にわたって我が国が平和国家への道を進むことに繋がっていくと考えている。
- ・昨年11月に江沢民国家主席が訪日され、小淵総理との間で33項目の将来に亘る日中間の協力事項が確認されたが、自治体としても誠実に対応すべき事項だと思う。また、江主席から天皇陛下に贈呈されたトキのひなが今年1月誕生し大変喜ばしく思うと共に、日中間の今後の友好関係が大きく羽ばたくシンボルとして、このひなが元気に育っていくことを心から願っている。

〈唐外交部長〉

- ・この度は訪中団の団長としてご苦勞様である。地方政府の活躍については、周恩来首相の「以民促官、官民共举（民を以って官を促し、官民共に挙ぐ）」（日中国交回復前に民間レベルでの交流が官である政府を動かし、政府も民間と共に発展を遂げた。即ち、国交回復に結びついた。）との言葉があり、地方自治体外交の果たす役割は大きいと思う。
- ・今回の訪中団の名簿を拝見していて、昔訪問した地域の方ばかりで大変懐かしく思っている。いずれも3度以上訪れている。
- ・昨年11月の江沢民主席の訪日は今世紀最後のイベントであり、それにふさわしい贈り物を工夫した結果、1対のトキが選ばれた。日本への最適なプレゼントができたと思っている。ひなが誕生したことはご同慶の至りである。

〈土屋団長〉

- ・2002年には日韓共同でワールドカップサッカー大会が開催される。開会式は韓国、決勝戦は日本となっており、この大会を是非成功させたいのでご協力をお願いしたい。埼玉県では63,000人収容のサッカー専用競技場を建設しており、この競技場をワールドカップだけ

のものでなく、子供達に夢と希望を与える施設としたい。

- ・施設完成の暁には、中国や韓国など近隣諸国の子供達に埼玉県に来てもらってホームステイ等を通じて友情を育んでもらい、世界平和に貢献したいと思う。

〈唐外務部長〉

- ・サッカー場の建設には、土屋先生が大変悩まれたと聞いたが、素晴らしい英断を下したと思う。世界の子供達の友好親善を育み、必ずや世界平和に大きく貢献するものと思う。将来最高の県民の財産になろう。

エ. 中日友好協会主催歓迎宴

【日 時】平成11年6月2日(水) 18:00

【場 所】貴賓楼飯店

【出席者】 齊懐遠 中国人民対外友好協会会長
陳永昌 中日友好協会副会長
呉瑞鈞 〃 秘書長
王秀雲 〃 部長
王慶英 〃 理事
鄧曉峰 〃 職員
関 湧 〃 〃
王合善 〃 〃
吉澤 裕 日本大使館公使
山本功人 〃 一等書記官

【概 要】

〈齊会長〉

- ・全国知事会代表団がこの度の訪中を通じて多大な成果を上げられることを期待する。
- ・また、こうした交流を通じて、子々孫々に亘る日中友好の歴史を刻んでまいりたい。

〈土屋団長〉

- ・私は『温故知新』という言葉が大好きである。今日まで日中友好のために努力された先人達の偉業を大切にして、日中両国の友好のため努力してまいろうと決意を新たにしている。

オ. 全国知事会訪中代表団主催答礼宴

【日 時】平成11年6月3日(木) 18:00

【場 所】中国大飯店「なだまん」

【出席者】 齊懐遠 中国人民対外友好協会会長
陳永昌 中日友好協会副会長
呉瑞鈞 〃 秘書長
王秀雲 〃 部長
王慶英 〃 理事
鄧曉峰 〃 職員
関 湧 〃 〃
王合善 〃 〃

吉澤 裕 日本大使館公使
山本功人 〃 一等書記官

【概 要】

〈土屋団長〉

- ・今回の訪中が、中日友好協会のきめ細かい事前準備と心温まるおもてなしにより、順調に実りある交流が続けられていることに対し、心からお礼を申し上げますと共に、日中友好親善の更なる発展と両国行政指導者の交流の継続を願って、来たる2001年（平成13年）の都合の良い時期に中国省長代表団を日本にご招待申し上げたい。

〈斉会長〉

- ・2001年のご招待を喜んでお受けしたい。北京での短いお付き合いだったが、団長をはじめとする代表団の皆様の暖かい友情が身に染みだ。今世紀最後の素晴らしい締めくくりができたと思う。今後もこのような友好交流が続いていくことを固く信ずる。中日両国が手を取り合って来世紀を歩んでいきたい。

○北京市でのその他の訪問先

[在北京日本大使館公邸：6/2] 谷野大使、吉澤公使、山本一等書記官、山根中国日本人商工会議所会頭、民辻大使館附属北京日本人学校校長ほか

[自治体国際化協会北京事務所：6/4] 小濱所長以下全所員

○北京市での同行者 中日友好協会 関 湧

中国人民対外友好協会 王合善

(3) 雲南省における主要行程記録

李嘉廷雲南省長表敬訪問

【日 時】平成11年6月5日（土）

【場 所】金龍飯店

【出席者】李嘉廷 雲南省人民政府省長

周剛仁 〃 秘書長

彭仁東 〃 外事弁公室主任

張宝貴 〃 雲南省旅游局副局長

王漢高 〃 雲南省対外経済貿易庁副庁長

姜云章 〃 雲南省人民対外友好協会秘書長

揚 翔 〃 職員

【概 要】

〈李省長〉

- ・雲南省人民政府と雲南省 4,200 万の人民を代表して訪中団ご一行を熱烈歓迎する。また、行政を預かる分野の方々との意見交換ができて光栄である。皆様雲南省訪問は初めてとのことであるので、雲南省の概要と日本との関係についての私の考え方を紹介したい。
- ・全中国31の省と区の中で、雲南省は4つの特徴があると思う。まず、豊富な資源に恵まれていること。動植物資源をはじめ、非鉄金属などの地下資源も豊富で、黄燐の埋蔵量は全国トップ、非鉄金属の生産量は全国総生産量の1割を占めている。

2つ目は、少数民族が多く、特色ある文化を持っていること。5,000人以上の人口を持つ少数民族数は25あり、そのうちの15民族は雲南省特有のものである。省の少数民族の総数は省総人口の1/3を占め、雲南省政府の職員の中でも8人中3人が少数民族出身である。

3つ目に4,060kmもの長い国境線を有し、ベトナム、ラオス、ミャンマーの3国と隣接していること。

最後に都市部と農村部との発展の格差が大きいこと。都市部の人口は省全体の14%を占めているが、都市部における総収入は全国の8番目、農村部は29番目とアンバランスである。

- 以上の実情を踏まえて、雲南省の経済発展のために今後取り組むべき戦略として、優れた産業を選択して重点的にこれを発展させる方針を立てた。その産業には、①巻きタバコの生産 ②花卉・砂糖・ゴム・お茶などの生物資源の開発 ③観光資源の開発 ④非鉄金属、黄燐の開発 ⑤雲南省の実情に合うハイテク産業の育成などである。
- 日本との協力関係については、私の今までの経験から次のような点が提案できると思う。

一つは日本の有する資金力、技術力、人材、管理能力を導入して地下資源等の開発に取り組むこと。これまで日本のいくつかの会社と合弁して資源開発の仕事を進めてきたが、今後はもっと広い範囲で協力関係を押し進めたい。

二つ目は観光資源の開発。昨年、雲南省を訪れた日本人観光客は6万人を越えた。観光会社の予想では、今年、15~20万人に達すると見ているが、何と云ってもJASの昆明-関西新空港直行便の開設が威力を発揮している。

三つ目に科学技術、教育、文化、人材育成などの面に協力関係を持つこと。秋篠宮殿下が動植物の種類の数に関心を持たれ、今年も来訪されたい意向と聞く。少数民族の舞踊、衣装、文化には日本のいくつかの県や観光会社が関心を示し、共同で事業を行いたいとのことである。

- 以上の協力関係を実現するために、友好都市、姉妹県関係がどこかの自治体と締結できれば幸いである。こうした意向は日本の外務省にも伝えてあるが、今なお交流の相手を捜しているところである。
- 歴史上の問題かあるいは地理上の原因か、雲南省と日本との関係は薄い。しかし、交通機関の発達、改善によってその距離が縮まってきた。日本との関係は前途洋々であり、今回の訪問は必ずや日本との関係を促進させる良い役割を果たすものと思う。

〈土屋団長〉

- 李省長はじめ関係者の皆様のご歓迎を感謝する。昨日空港到着早々、世界園芸博覧会を視察した。大変ダイナミックなイベントに感銘し、各国の知恵を出し合った出品物にも心を動かされた。
- 先ほどの李省長の説明の中に、日本と雲南省は縁が薄いとあったが、日本のお茶のルーツを辿れば雲南省に至るのではないかと。京都の宇治茶、埼玉の狭山茶など日本にも有名なお茶の産地はあるが、お茶の起源は雲南省となれば、我々日本人には感慨深いものがある。
- 本日午前中に訪問した石林にも驚かされた。まさに世界の遺産の感が

ある。この石林をはじめ昆明一帯は自然環境に恵まれた素晴らしい場所である。いずれまた訪れたい。

- ・雲南省の資源の活用について日中が協力して取り組むことについては同感である。李省長の強い熱意を小淵総理や高村外相にも伝えたい。また、姉妹県省の問題も含め、自治体間の草の根外交の進展と次代を担う青少年の育成に全力で臨みたい。

〈井戸団員〉

- ・世界園芸博覧会に兵庫県貝原知事をお招きいただき感謝する。来年3月から始まる兵庫県の「ジャパンフローラ2000」に雲南省関係者の皆様のご協力を賜りたい。併せて、ご希望があれば、例えば会場の一角に物産コーナーを設けるなどの検討も行いたい。

○雲南省での随行者 雲南省人民対外友好協会 楊 翔

(4) 上海市における主要行程記録

ア. 浦東経済開発区視察

【日 時】平成11年6月7日(月)

【場 所】浦東新区管理委員会

【出席者】阮延華 上海市浦東新区管理委員会副主任

【概 要】

〈阮副主任〉

- ・ご訪問を歓迎する。浦東新区の概要について若干の説明を行いたい。
- ・上海は中国最大の経済都市でありかつ国際貿易港として長い歴史を持っている。その上海市内を貫通する黄浦江の東側を浦東と呼び、以前は上海の中心地浦西に比べて工業生産が少なく、畑が一面に広がっていた。この浦東が1990年以降、中国の改革開放政策の重要な拠点として、国際的な経済、金融、貿易の中心地の一つとして開発され始めた。浦東新区は面積522・、人口150万人であり、開発は交通、エネルギーなどのインフラ整備を第1段階に置いた都合3段階の開発方式により、それぞれ特色を持った4つの重点開発区の整備が進められてきた。完成は21世紀初頭を目処とし、世界第1級の多機能の新都心、世界に開かれた都市の完成を目指している。

例えば、現在、金融中心区には中国国内の各銀行支店が集まっていて、香港上海銀行、アメリカのシティバンク、日本の東京三菱銀行、富士銀行など20数行の外資系銀行が進出している。

- ・浦東新区は税制上でも一連の優遇政策が中央政府によって与えられており、投資効率が高く、利益の回収が早いという魅力的な立地条件を備えつつある。また、特に見落としてならないのは、後背地に上海を持っている浦東が、地理的位置、産業構造、人的資源などの面で恵まれている点である。1997年末までに、5,000件近くの投資プロジェクトが浦東に進出し、海外からの直接投資額は150億ドルに達している。以上のことから、浦東は多くの発展のチャンスに満ちていると言える。

〈土屋団長〉

- ・今回の訪問で関係者の方々の熱烈歓迎に対し御礼申し上げる。

この開発プロジェクトが我が尊敬する鄧小平先生の構想によるものと聞き、また、上海が中国全体の経済発展をリードしている姿に接して敬服した。また、日本からの進出企業も 2,000 を数え、格別の配慮を頂き感謝する。

〈森元団員〉

- ・浦東新区の開発は順調に進展しているようだが、現在抱えている一番の問題点、課題は何か。

〈阮副主任〉

- ・浦東は元々農村だったので、インフラの整備が一番の問題だった。次に投資ソフト部門の環境整備である。3番目は人材育成の問題と続く。

〈井戸団員〉

- ・このプロジェクトのねらいは、中国の市場や資源を求める外国企業の受け皿になろうとしているのか、それとも、中国が自らの資源を活かすために外国企業を呼び込みたいのか。

〈阮副主任〉

- ・今言われた全ての状況に対応したいと思っている。

〈紀内秘書長〉

- ・浦東の進出企業で使われている労働者は元々この地域に住んでいた人か、あるいは中国の他の地域の人か、また、この区域に農地を持っていて農地を失った農民はここに就業できたのか。

〈阮副主任〉

- ・2種類の労働者がいて、一つは高いレベルの技術系の幹部で、これは上海市が全国から募集した。もう一つは一般の労働者でこれはここに住んでいた農民を雇って使っている。
- ・農地を失った農民は、ここに就業できた人とできなかった人とがいた。

イ. 左煥・上海市副市長表敬訪問

【日 時】平成11年6月7日（月）

【場 所】上海市人民政府

【出席者】左煥・上海市副市長

姚全福 上海市人民対外友好協会常務副会長

魯耀峰 〃 理事

趙捷 〃 職員

李晰佳 〃 職員

【概 要】

〈左副市長〉

- ・ご訪問に対し、上海市人民政府を代表して心から歓迎する。
- ・先ほど視察された浦東新区は、昔は畑ばかりだった。その当時はビルの数が全体で 300 棟程しかなかったものが、現在 3,000 棟あるという。しかし、それによって環境悪化というマイナス面が現れてきた。大気の流れの阻害や緑の破壊といった開発に伴う種々の影響が顕著になりつつあり、こうした点の解決策について日本に学びたいと思っている。
- ・上海は経済面のみならず文化面の振興にも力を入れている。図書館、博物館の施設建設を始め、2001年オープン予定の浦東の科学技術

博物館の建設など、次の世代の人々へのお土産のつもりである。

- ・また、高齢化対策にも取り組んでいる。私の担当は医療・衛生の分野であり、単なる福祉政策を超えた公的な整備を進めている。例えば、60歳以上の高齢者に対して個人別の健康カードを作成し、家庭訪問やボランティアを活用したきめ細かい介護政策を実施している。
- ・上海経済の急激な発展に伴い、水質汚濁、大気悪化等環境問題がクローズアップされている。全国レベルでも上海はテスト都市の一つに指定され、河川整備、緑化問題、車の排ガスなどの分野で公的な規制基準を設けて解決を図ろうとしている。
- ・今後上海は、持続可能な発展と科学教育の振興の2大目標を掲げて努力することとしているが、担当である福祉、医療分野に関し私自身日本の福祉行政など視察し、大変勉強になった経験から、今後とも日本との相互交流を通じて、当面する課題の解決に務めたい。

〈土屋団長〉

- ・ご多用中の折時間をさいいただき感謝申し上げます。本日の午前中は上海博物館を訪ね中国の歴史の重さを実感し、午後は浦東地区の視察を行い貿易、経済のリーダー役を上海が引き受けていると感じた。
- ・経済の発展に伴う環境悪化の問題について、私は以前環境庁長官を務めていた経験から格別の関心を持っており、埼玉県では来年4月に環境科学国際センターをオープンさせる予定であるため、完成後はぜひ上海市と情報交換を行いたい。
- ・2002年の韓国との共催のワールドカップサッカーでは、次代を担う青少年にスポーツ交流を通じた友情を育むことができるよう、地元で63,000人収容のサッカー専用スタジアムを建設している。

〈井戸団員〉

- ・阪神・淡路大震災の際にはご支援を頂き感謝する。その後、神戸復興のためのプロジェクトの一つとして、上海、長江との交流促進を進めるに際しご協力をいただいた。その結果、神戸市は武漢市に駐在員を置くことになった。今後とも上海市とは主に貿易を通じた交流をお願いしたいと考える。

〈森元団員〉

- ・岐阜県は日本の真ん中辺りに位置し、工業がかなり発達している県である。上海との関係では、こちらの繊維関係の業者およそ200社前後が岐阜県と交流、提携を結んで生産活動を行っている。その縁もあり、第1回の上海マラソンは、岐阜県の民間企業がスポンサーとなって行った。また、岐阜県では情報産業の振興にも力を入れており、上海交通大学を一昨年岐阜県知事が訪問し、共同研究、情報交換を行う合意ができた。本日は私がそのフォローアップに出かけてきた。

〈小菅団員〉

- ・栃木県は東京の北部に位置しているが、浙江省と友好交流を行っている。上海と浙江省との関係は、位置的には東京都と栃木県との関係に似ており、上海を玄関口として産業、文化などが浙江省に広がっていくため、上海市との交流を重要視している。

○上海市でのその他の訪問先

[在上海総領事：6 / 7 瑞金賓館] 市橋総領事、瀬野領事、高野副領
事ほか

○上海市での同行者 上海市人民対外友好協会 趙 捷
上海市人民対外友好協会 李晰佳